



第九たいはず

No.27 2016.12.1 通刊1217号 担当 Matsu

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX: 027-322-0996 緊急 090-1828-8052(小野里)

先日の指揮者レッスンに大変、驚いた方も多かったのではないのでしょうか。かくいう私もその中の1人です。しかし、私たちの演奏会を心待ちにして、聴きにきてくださるお客様のためにも、今できる最高の演奏をしようではありませんか！演奏会本番まであと2回を残すのみですが、自信を持ち、集中して取り組みたいものです。

◆ 指揮者レッスン注意点

- ・第九はく初めて歌う時の気分>でやってほしい。
- ・238小節 Freude ! に入る際、準備して入る。〈唐突に入らない〉。rは巻く。4拍子を感じて。
- ・257小節 Deine Zauben binden wieder ~ 2拍子で取る。bとwの発音の違いははっきりと。alleの単語意味を感じる。
- ・411小節 マーチのテンポはちょっと遅めに。
- ・543小節 MIに入るところで<空気を感じる>と良い。2拍子で歌わない。6拍子で。次にffがあるので かなりたてない。きれいにフォルテ一つで歌う
ソプラノが怖い。オケの動きを感じながら、もっと優しく歌う。602の3拍目を聞く。
- ・631小節 ihr stürzt nieder, ソプラノ…クレッシェンドは欲しいが、声を出すのは×。
高いところで拍子を感じて。
- ・650小節 Über sternem muß ~ ソプラノ…ここは木管楽器が大変気を使って入ってくるので、音があればよい程度。
- ・655小節 Freude schöner ~ 6拍子で取る。ゆっくり。
- ・759小節 lieber Vater wohnen. ディナーミクを正確に。
- ・810小節 Menschen werden ~ schenで表情豊かに。
- ・916小節 Tochter aus Elysium ぶちっと切らないでためて入る。
- ・919小節 Götter funken ! 指揮より先に行かない。

◆ 第九演奏会の写真&CD申込受付中

演奏会の写真^は井田写真館様に撮影を依頼しています。価格は1枚1200円の先払い、自宅へ郵送となります。CD^は群馬音楽センターで録音して団にてCDにします。このCDは販売目的ではありません。団の参考資料として録音・CD化し、団員の皆様にのみ販売しておりますのでご承知おください。価格は1枚1000円、1月に練習会場で配布します。(12月8日締切)

※CDの受け取りについて、1月以降練習に参加されない場合は、「練習会場に受け取りに来る」か、「送料200円を先払いして郵送を希望する」かのどちらかを必ずお伝えください。時間が経つと、注文したことを忘れてしまったり、行き違いが生じることがありますのでよろしくお願いいたします。

◆ 演奏会当日の団員用駐車場について

出演する団員に限り、音楽センター北側「もてなし広場」になります。出入口は北側(NTT側)。
使用許可証を発行しますので、車の外からよく見えるダッシュボードの上に置いて誘導係の指示に従って駐車してください。ただし、時間で施錠し、レセプション終了まで出庫できません。終演後に早く帰りたい方は周辺の有料駐車場に入れるか、公共の交通機関をご利用ください。

◆ 車椅子の方の駐車場について

演奏会に来てくださるお客様で車椅子の方のために駐車場を用意します。利用は、テノール稲葉さんまで申し込んでください。会場内も車椅子の対応をしますので必ず申し出てください。

◆ 今後の予定

12月10日(土) 第43回 第九演奏会(群馬音楽センター)

12月18日(日) 足利の第九(男声の応援をお願いします)

12月15・22・29日および2017年1月5日(木)の練習はありません。

2017年(平成29年)

1月12日(木) 新年会・歌い初め(練習会場)

1月19日(木) **これより毎週木曜日、メイコン通常練習**

4月16日(日) メイコンサート特別練習(高崎市中央公民館)

5月28日(日) メイコンサート(群馬音楽センター)

◆ 本日は駐車料金の清算日です

今年最後の駐車料金の清算になります。所定の用紙に1回200円以上の領収書を5回分貼り、受付に提出してください。一律1000円と交換します。1回の領収書が200円未満の場合はその領収書を取っておき、次回200円未満の領収書と一緒に2枚を1回分とします。

清算日に忘れた方、お休みなどで5回分の領収書がない方は、**来年1月19日(木)の清算**になります。清算日は原則として毎月第1木曜日のみですが、1月12日(木)は新年会のため今回は19日となります。清算日当日は受付の混雑が予想されますので、少し早めにお出掛けください。

◆ 12月お誕生日の方々 おめでとうございます！ (※敬称略)



宮田 美智子(1日/A)・大河原 厚子(2日/A)・阿藤 隆弘(3日/T)・

木村 友美(8日/S)・木間 薫(16日/S)・井澤 賢二(18日/B)・

山口 和子(19日/A)・長谷川 弥寿子(22日/A)・鳥屋 郁子(31日/S)

※掲載を希望されない場合は受付にお伝えください。

◆ 「樅の木」と「ひいらぎ」

赤羽洋子先生

クリスマスメドレーでの「樅の木」。何の抵抗も無くクリスマスソングとして歌っていますが、いつ誰が飾り始めたのか疑問に思ったことは有りませんか？

歴史を知って歌っていただいた方がより心こめられるかと思います。

起源は古代ゲルマン民族が冬至に飾った樅の木とされています。それがキリスト生誕のエピソードと融合し17世紀ドイツで現在の形に近いツリーに発展しました。18世紀の産業革命を契機に世界で最も豊かな国へと成長したイギリス。その絶頂期に君臨したビクトリア女王(1837~1901)は当時のファッションリーダー的な存在だったようです。さしずめ日本ではミッチーブームでテニスが流行ったような感覚でしょうか。華やかなツリーの前で寛ぐ女王一家の様子が度々報じられたため民衆もその幸せな光景に肖りたかったのでしょう。夫アルバート公の母国ドイツでの習慣を我が子に伝えるなんて主婦の鑑ですね。彼女の影響で樅の木を飾る習慣が定着しました。

柊の尖った葉はキリストの受難のシンボルで棘の冠を意味し、赤い実はキリストが流した血を表しています。

こうして欧米のクリスマスは宗教的な行事だけでなく家族で楽しむイベントに変わってきました。私たちは長い歴史の樅の木を神々しく称え、そして思いっきり華やかに歌で柊を飾りましょう。



◆ 「演奏会次第とお願い事項」よく読んでくださいね

先週配布されたプリントには重要事項が記載されています。よく読んでおいてくださいね♪